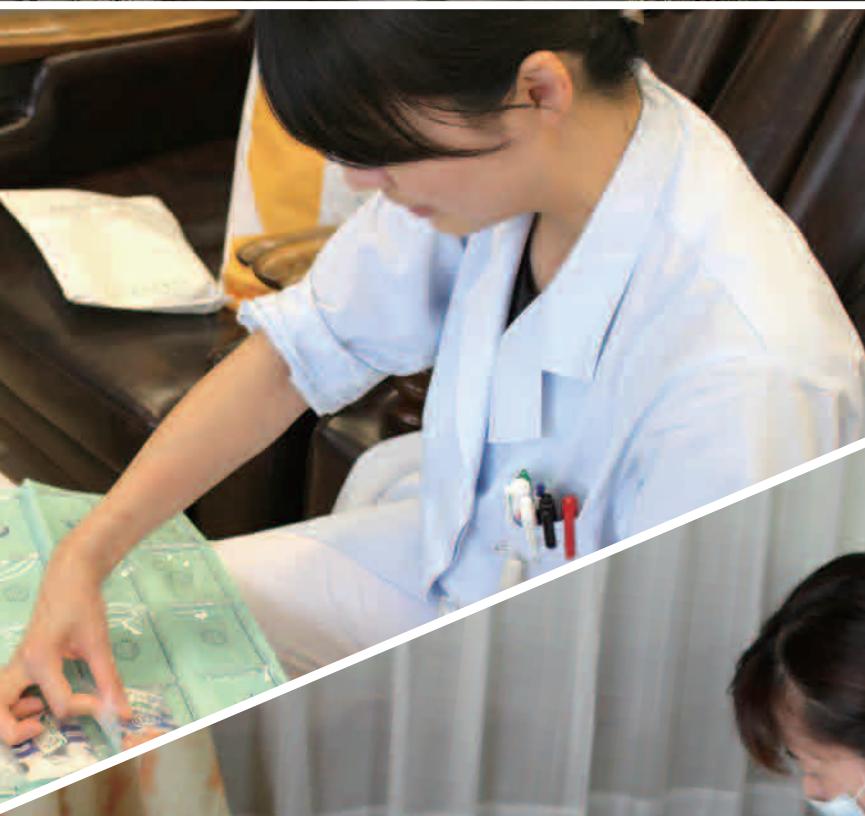


八鹿病院 ニュース

2017年

10月号

地域に暮らす人々と共に
心あたたかな医療をすすめたい



● yoka hospital 「医療」

病院訪問部

- トピックス
- コラムコーナー
- 八鹿病院からのお知らせ
- 医師修学資金貸与制度

公立八鹿病院基本理念

私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします。



当院は敷地内全面禁煙です。
ご協力宜しくお願いいたします

医療のプロにお任せ下さい 病院訪問部

八鹿病院では、在宅療養中の患者さんのご自宅へ訪問し医療を提供する活動を積極的に行っています。
それぞれが1名ずつ担当し、薬・食事・口腔ケアへの関わりを通して住み慣れた地域やご家庭での生活を支援いたします。

食事・栄養のことで困っていることはないですか？

- 退院後、どのように食事をすれば良いか分からない。
- 食事管理がうまくいかず、栄養に不安がある。
- 食べる量が減り、体重が減っている。
- 食べたり飲んだりすると、すぐにおせる。

主な業務

- 食事摂取量と栄養状態のチェック
- 特別な治療食の確認・食事アドバイス（糖尿病食、腎臓食、透析食、心臓病食、胃術後食など）
嚥下機能に合わせた食形態と調理方法の提案
- 栄養補助食品や介護用食品の紹介・使用方法説明
- ご自宅の調理器具や材料で調理実習
- バイタルチェック（体温・血圧・脈など）

管理栄養士が訪問し、食生活や栄養に関する様々な相談にのります。
食べることを通して、健やかな在宅生活が送れるように支援します。

01 訪問栄養指導

患者さんの生活スタイルに合わせた
食事環境を提案します



薬のことで困っていることはないですか？

- 薬の管理ができない。
- 薬を飲み忘れてしまう。
- 薬がたくさん家に余っている。
- たくさんの種類を飲んでいるが、飲みあわせは大丈夫か心配。
- 飲みにくい、または服薬介助の際に飲んでくれない。
- 何に効く薬かわからない。
- 錠剤をつぶして飲んでも大丈夫？

主な業務

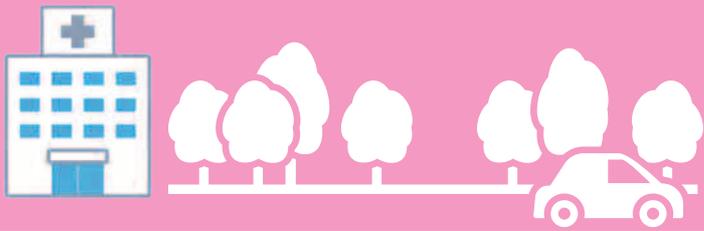
- 薬を正しく飲めるよう、患者さんやご家族と相談しながら薬の管理方法を支援（定期的に飲む薬のセットなど）
- 飲み方の指導・確認
- 自己注射（インスリンなど）や吸入薬の手技確認・指導
- 薬と食品・嗜好品との飲み合わせ確認
- 経腸栄養剤、蒸留水などの運搬が困難な方への薬剤運搬
- バイタルチェック（体温・血圧・脈など）や、お話をうかがい、薬の効果や副作用が現れてないか確認



02 訪問薬剤指導

家での安全な服薬管理のために

お家で薬の管理ができるよう、薬剤師が訪問して医師や看護師など患者さんに関わる職種と連携をとりながら、在宅での安全な薬物治療を援助しています。



訪問部
つて



- ・管理栄養士
- ・薬剤師
- ・歯科衛生士

口腔のことで困っていることはないですか？

- 肺炎を繰り返してしまう。
- 口の中のケア方法がわからない。
- 寝たきりなので口の中が心配。
- 口臭が気になる。
- 食べ物が口からこぼれる、口の中に残ってしまう。
- 入れ歯の手入れ方法がわからない。

主な業務

- お口の状態観察（歯ぐき、舌、粘膜の様子、入れ歯の使用状況など）
- 歯科衛生士による誤嚥性肺炎予防のための口腔ケア
- 患者さん、介護者さんへのケア指導（歯みがき方法、用具の選び方、入れ歯の手入れ方法など）
- 口周囲の機能低下を防ぐための口腔リハビリ
- バイタルチェック（体温・血圧・脈など）

歯科衛生士が訪問し、お口に関する疑問やお悩みに対応します。
患者さんそれぞれに合わせたお口の健康管理を支援します。

03 訪問歯科指導

「お口の健康を維持するために」



訪問指導の対象となる方

介護保険・医療保険ともに対応します。
主治医が八鹿病院以外の患者さんでも利用可能です。



連絡方法

お申込み・ご相談の際はお電話で直接ご連絡下さい。
訪問担当者不在の場合は、こちらから折り返しご連絡いたします。

公立八鹿病院（薬剤部・栄養科・歯科）
tel.079-662-5555(代)

平日 午前8時30分～午後5時

（土日祝日、12月29日～1月3日、8月14日を除く）

ご利用料金	介護保険	医療保険
管理栄養士	533円(2回)	530円(2回)
薬剤師	553円(2回)	650円(4回)
歯科衛生士	352円(4回)	360円(4回)

※表中の金額は1割負担の方の自己負担分です

※カッコ内は、1ヶ月の訪問限度回数

8/5

やぶ医者大賞

8月5日、過疎地での医療に励む若手医師を表彰する第4回「やぶ医者大賞」(主催：養父市)の表彰式がビバホールにて開催されました。滋賀県米原市の「地域包括ケアセンターいぶき」の臼井恒仁医師と、岡山県鏡野町の「鏡野町国民健康保険上齋原歯科診療所」の澤田弘一所長がそれぞれ受賞され、講演が行われました。当院からも後藤葉一院長が審査員として厳正な審査に加わり、



受賞された臼井・澤田両医師と広瀬養父市長・井上養父医師会長

どの候補者も甲乙つけがたい評価の中、過疎地での地道ながら目覚ましいご活躍により、見事お二人が受賞されることとなりました。今後、地域医療を盛り上げる大きな機縁となることを願っています。

また、授賞式後には、後藤院長より健康講座「心臓病と脳卒中を予防していきいきと生きる：食事と運動の大切さ」と題して講演を行いました。多数の市民の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。



授賞式後に講演を行う後藤院長

8/2・3・4

「ふれあい看護体験2017年」



保健医療福祉施設が市民のためにドアを開き、関係者と交流しながら実際の看護場面を見学・体験することを目的として実施しています。八鹿病院では、例年但馬の高校生を対象に各高等学校を通じて希望する方に参加していただいています。参加者の多くは、将来医療職を希望しているか、興味があるという高校生です。当院は、様々な職種体験したいという希望者の要望にお応えできるよう、看護だけでなく他の医療職の体験も企画しています。

8月初旬の35度を超える猛暑の中でしたが、総数 138 名の参加がありました。体験された職種は、看護師が 68 名、リハビリテーション

28 名、臨床検査技師 5 名、臨床工学技士 1 名、薬剤師 22 名、放射線技師 7 名、栄養士が 7 名でした。

看護の参加者は、実際に白衣を着て、患者さんのお世話や医療処置の見学、患者さんとふれあう体験を通して、看護職の仕事へのより深い興味・関心を持たれた方や看護職の道に進みたいという希望を語る方、看護師や助産師になることを決意した方もありました。終了後は、「命の大切さを学ぶことができた」「貴重な体験ができた」「来年も参加したい」という感想の言葉をいただきました。八鹿病院は、今後も市民のために開かれた環境を創ることの一環として、ふれあい看護体験を続けていきます。そして、看護や医療職を目指される方を応援していきたいと思えます。





八鹿病院 セタコンサート(第48回)

7月7日、七夕の日に毎年恒例の院内セタコンサート(第48回)が開催されました。

公立八鹿病院看護学校生(第26期生)による合唱、朝来市でピアノ講師をされている西山賀絵さんのピアノ演奏、そして最後は「上を向いて歩こう」「セタさま」など4曲を、患者さんを含め会場の皆さん全員と一緒に歌いました。用意していた200部のパンフレットがすべてなくなり、大盛況となりました。

お集まりいただいた皆さま、本当にありがとうございました!



養父市防災の日

PUSH講習会 in 吉井区

9月3日、関宮の吉井区にて、地域住民の方々に向けた心肺蘇生法の講習会を行いました。心肺停止に陥った方に対しては救急隊が到着するまでに救命処置を開始する必要があります。心肺蘇生法を開始する時間が1分遅れるごとに、命が助かる割合は7%~10%低下し、10分が経過すると、ほぼ助からない状態となってしまいます。救急車が到着するまでの間、身近にいる方による迅速で適切な応急手当が大切です。

講習会には120名近くの方にご参加いただき、真剣なだけでなく、時に笑いも起きる楽しい講習会となりました。「胸をPUSH」する胸骨圧迫と、「ボタンをPUSH」するためのAEDの操作方法を学んでいただいたことで、実際に倒れた方を発見したときには、勇気を持って「自分の背中をPUSH」できるようになっていたかと思えます。

勇気を持って対応できる市民が増え、心臓突然死から1人でも多くの方が救命されることを目的に、今後もこのような活動に励みたいと考えております。



※AEDとは?

AED(自動体外式除細動器)とは、心臓がけいれんし、血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。医療従事者ではない一般市民でも使用できる機器であり、操作方法を音声でガイドしてくれるため、簡単に使用することができます。病院や駅、学校など、公共施設や人が多く集まる場所を中心に設置されていますので、身の回りではどこに設置されているか、把握しておくことも大切です。

「息切れを感じたらどうするか?」

院長 後藤 葉一

「坂道を急いで登った時にハハ、フーフーと息切れを感じる」のは誰でもあることですが、「平地でも息切れを感じる」あるいは「他の人の歩行速度についていけない」というように症状が強い場合は原因を調べる必要があります。

息切れの原因には、大きく分けて以下の3つがあります。①心臓が弱って全身の筋肉へ十分な血液を送り出すことができない心不全の状態になっている、②肺や気管支など呼吸器の病気で酸素を十分に取り込むことができない、③運動不足で体力が低下していたり太りすぎのせいで少し動いただけで息切れがする。

①の心不全の場合、原因として心筋梗塞、心臓弁膜症、心筋症などの心臓病が考えられ、心電図検査や心臓超音波（エコー）検査で診断します。

②の呼吸器の病気としては、肺炎、肺気腫、慢性気管支炎、気管支ぜんそくなどがあり、胸部レントゲン写真やCT検査、呼吸機能（肺活量）検査で診断します。

③の運動不足や太りすぎの場合は、検査をして心臓や呼吸器の異常が無いことを確認したうえで、運動習慣や体重から判断します。これら以外に、貧血などが原因となっている場合もあり、血液検査でわかります。



治療としては、心臓病の場合は内服薬や手術、呼吸器の病気の場合は内服薬や吸入薬、運動不足なら毎日の運動習慣、太りすぎなら食事療法（カロリー制限）、ということになります。

動くと息切れがする場合には、自分の判断で運動を控えて安静にしていると、ますます運動不足になり体力が低下しさらに状態が悪化することになりますので、きちんと検査を受けて原因を調べることが大切です。受診する診療科は循環器内科または呼吸器内科になりますが、まずかかりつけの先生に相談するのがよいでしょう。

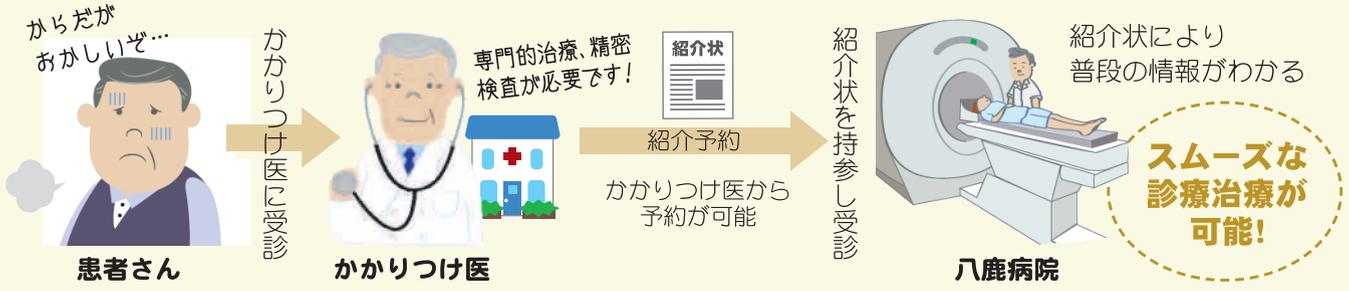
また日頃から適度な運動習慣を続けることが体力を維持するうえで重要です。いつまでもいきいきと動けるように、動いた時の息切れを自分でチェックして、病気の早期発見や予防に気をつけましょう。

八鹿病院は地域医療支援病院です

地域医療支援病院とは、患者に身近な地域で医療が提供されることが望ましいという観点から、紹介患者に対する医療提供、医療機器の共同利用などを通じて、地域医療を担うかかりつけ医の先生を支援し地域医療の確保を図る病院として都道府県知事が承認した病院のことで、但馬では唯一当院のみが承認されています。初診患者数に対して一定割合以上の紹介患者数（紹介状を持参した患者さんの数）を満たすことが承認の基準となっております。今後も、当院が地域医療の発展に貢献できるよう、引き続き努力を行って参りますので、地域住民の皆様は、ぜひ下記のことにご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

かかりつけ医へ通院中の方へ

かかりつけ医へ通院中の方で体調に異常がある場合、直接当院へ来られる前に、まず、かかりつけ医への受診をお勧めします。かかりつけ医の先生から紹介状を書いていただき、それを持参して来院して下さるようお願いいたします。



お知らせ



【呼吸器外科・心臓血管外科外来の新規開始について】

9月より、神戸大学 呼吸器外科・心臓血管外科からの応援医師により、呼吸器外科・心臓血管外科外来を新規にオープンすることになりました。

主に、養父市の低線量CT検診(当院のCT機器を利用したもの)を受けて要精査の結果となった方の診察や、院内の他診療科からの手術適応のある患者さんの診察を担当します。院外から受診を希望される場合は、一旦当院の外来(内科等)を経由していただくこととなりますので、まずはかかりつけ医の先生にご相談下さい。

【他院からの事前予約受付時間を延長します】

9月より、八鹿病院の受診予約を取られる患者さんへのサービス向上のため、下記の曜日は他院からの予約受付時間を延長いたします。他院にて夕方に診察を受けられた際、下記の時間内であれば八鹿病院への紹介予約をその場でスムーズに取っていただくことが可能となりますのでお知らせいたします。

★他院からの事前予約受付時間

月曜日・火曜日・水曜日・金曜日 8:30～18:30

木曜日 従来通り(8:30～17:00)

【CT・MRI 検査の時間外実施の開始について】

10月より、単純CT・単純MRI検査を夕方時間外(17:00～18:30)にも実施いたします。従来、時間外では救急患者さんのみの利用でしたが、下記の予約枠でも受けていただけるようになります。かかりつけ医の先生からの紹介または当院各外来からの予約が必要です。ぜひ積極的にご利用下さい。

★時間外の予約枠

火曜日(CT・MRI)・金曜日(CTのみ)の17:00～18:30
(要予約)



医師異動のお知らせ

【新任医師】



【外科】

ふじすえ じゅん
藤末 淳

～よろしく申し上げます～
平成29年10月1日～

【退任医師】

【外科】

きん やすお
金 泰雄

～お世話になりありがとうございました～
平成29年9月30日付



公立八鹿病院 医師修学資金貸与制度

【必須プラン】

医師修学資金 貸与制度

一人あたり
総額 **1,152万円(最大)**
月額 15万円(1~4年)・18万円(5~6年)

当院へ一定期間勤務で
全額返済免除

**最大3,152万円の
サポート!**

【選べる2つの追加プラン】

プラス
+

入学時特別修学資金 貸与制度

一人あたり
上限額 **1,000万円**
(入学金・授業料等)

当院へ一定期間勤務で
全額返済免除

修学
資金

返済
免除

医師修学一時資金 貸与制度

一人あたり
上限額 **1,000万円**
(入学金・授業料等)

無利息で借入れ可能
返済免除規定なし

選べる追加プランは、1つでも2つでも自由に組み合わせて利用出来ます。
もちろん、**基本プランのみ**を利用することも可能です。

＜修学資金の返還免除の条件は？＞

貸与学生は大学卒業後、医師国家試験に合格すると当院の研修医として採用します。2年間の臨床研修後、当組合の医師として勤務していただき、貸与期間と同じ期間勤務された場合は、修学資金の返還を免除します。

※返還免除の勤務年数に満たないで退職した場合は、利息を付し貸与金額の全額返還を求めます。

＜誰でも制度が利用できる？＞

下記の条件にあてはまる方を対象としています。

- 高等学校を卒業し大学医学部医学科に進学しようとする方
- 修学中の方で大学卒業後、当院で2年間の臨床研修を修了し医師として当組合で勤務する意志のある方。

※制度の利用は申請書類と面接により決定します。

募集人員 2名 (総額3,152万円貸付)
【医師修学資金・修学一次資金(返還義務有)・特別修学資金】

応募資格 平成30年4月に新たに大学医学部課程に入学した者(新1年生)
下記の要件の者
(1)平成30年4月現在、大学医学部1年生として在学する者
(2)大学卒業後、公立八鹿病院で2年間の臨床研修を修了し、
医師として公立八鹿病院組合で勤務する意思のある者。
※なお、貸与学生は、貸与期間中は、
当院の医学生研修プログラムに参加すること。

試験日 平成29年12月25日(月)
午後の予定。時間は追って連絡いたします。

受付期間 平成29年11月13日(月)～平成29年12月11日(月)必着

試験会場 公立八鹿病院

試験方法 作文試験・個人面接試験
(後日、改めて再度面接試験を行う場合があります。)
また、貸与の開始は、正式決定後となります。

結果発表 試験結果は、平成30年1月中頃に本人へ内定通知します。
正式決定は、大学医学部の合格証明後となります。
また、貸与の開始は、正式決定後となります。
貸与の開始は、平成30年4月となります。

大学卒業
国家試験合格

臨床研修
2年
4年
勤務

6年間制度を利用した場合

貸与期間と
同じ期間勤務で
返済免除!

※臨床研修後、上限2年間は関連大学や他病院等での研修が可能です。
ただし、勤務期間には換算されません。



医学生修学資金制度 利用者募集しています!

募集要項、受験申込提出書類は、当院ホームページからダウンロードできます。
詳しくは担当までお問い合わせください。
高い志を持った皆様のご応募をお待ちしております。

URL: <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp/>

お問い合わせは、公立八鹿病院 人事会計課 (Tel:079-662-5555)まで

発行

公立八鹿病院 総務課

〒667-8555 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1878 番地 1 TEL.079-662-5555 (代) <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp>

